（２）県外へ転出した理由

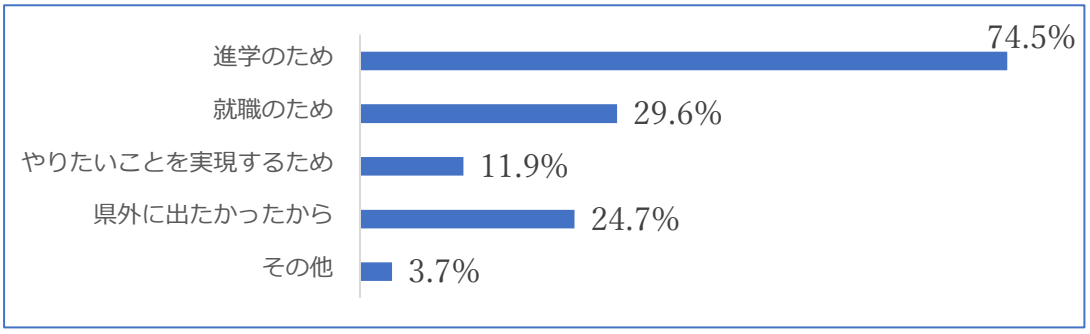
①県外へ転出した理由

「進学のため」が 74.5%と最も多く、次いで「就職のため」が 29.6%、「県外に出たかったから」が 24.7%と続いた。

県外へ転出した「その他」の理由をみると、「県外願望」が最も多く、次いで「転勤」「結婚」と続いた。

「進学のため」県外へ転出した「その他」の理由をみると、「選択肢が少ない」が最も多く、次いで「生活環境に不満」、「県外に出たかった」と続いた。

Q青森県外へ転出した理由をお聞かせください（複数回答）



■「その他」を選択した方の記述内容■

a. 就職・転勤

・転勤のため	（５）

b. 結婚

・結婚をきっかけに県外に住みたかった

c. 県外願望

・給料が安い。将来の展望が見えない。狭い世界で終わりたくなかった
・親族関係やご近所関係など、自分だけでなく親や祖父母やそれ以前からのしがらみを煩わしく感じていた。 また、これまでの自分の交友関係だけでなくもっと新しいところへ飛び込んでみたかった
・都会へのあこがれと視野を広げるため
・一度は県内から出てみたかった。また、進学するにあたり、県内で希望する学校がなかったから
・賃金が安く仕事を掛け持ちしないと生活できない環境を変えたかった
・チャンスがあるから。違う土地に住んでみたかった

d．その他

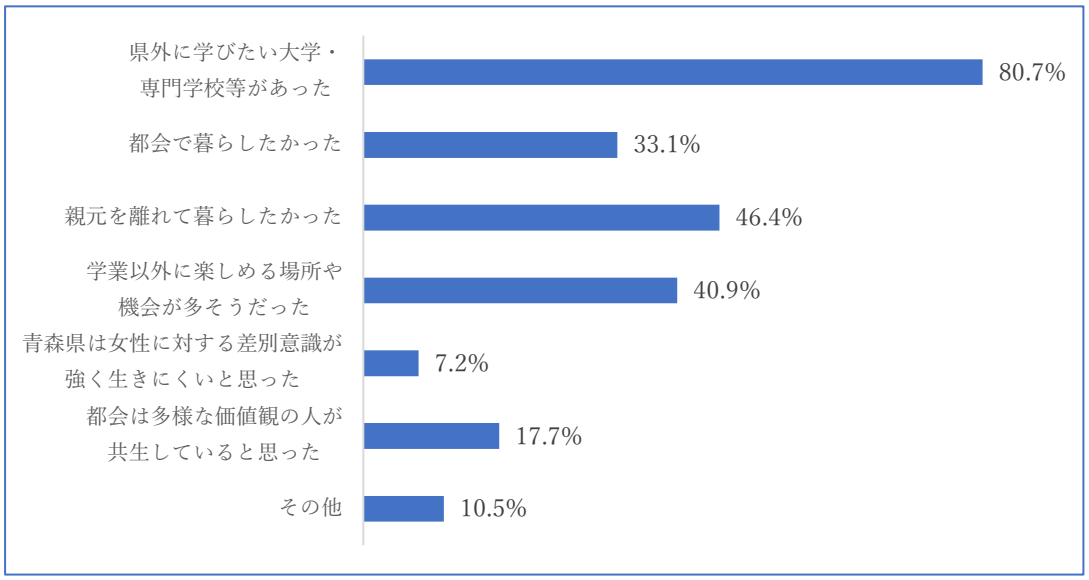
・人間関係をリセットしたかった

②「進学のため」県外へ転出した理由

転出理由として最も多かった「進学のため」とした人に、県外の教育機関を選んだ理由を問うと、「県外に学びたい大学・専門学校等があった」が 80.7%と最も多く、次いで「親元を離れて暮らしたかった」が 46.4%、「学業以外に楽しめる場所や機会が多そうだった」が 40.9%と続いた。

「進学のため」県外へ転出した「その他」の理由をみると、「選択肢が少ない」が最も多く、次いで「生活環境に不満」、「県外に出たかった」と続いた。

Q4-3　Q4-1 で「進学のため」と答えた方の県外へ転出した理由（複数回答）



■「その他」を選択した方の記述内容■

a．選択肢が少ない（狭い）

・近隣に魅力的な学校がなかったから
・若者が行く店が少ない
・県内の選択肢が狭かったから。
・県外にレベルの高い大学が多いから
・進路選択時、担任教諭から学力という観点でその大学を勧められたから。（君の学力なら〇〇大学を狙える、〇〇大学に行った方が良いという感じで）
・自分の学びたかった学問を学べる学校が県外にしかなく、県外に出る以外の選択肢がなかった

・新聞奨学生制度を利用できる学校が県内にはなかったため
・近隣に魅力的な学校がなかったから
・県内に学びたい大学がなかった
・県内に進学希望の学科がなかった
・井の中の蛙大海を知らず。ではダメ。世の中を知り学んで帰って来たいと思ったから

b. 県外に出たかった

・若い頃は、青森県はつまらないと思っていたため、とにかく県外に出たかった
・海外の価値観を知りたかったから
・県外に住んで広い視野を持ちたかった
・当時、やりたいことは地方で実現不可能だった
・青森県にいることに価値を感じなかったから
・自分の事、親の事を誰も知らない場所で暮らしたかった

c. 生活環境に不満

・賃金が安い
・雪かきが嫌
・車が無いと生活が難しいのと車の維持費が高い
・当時、やりたいことは地方で実現不可能だったことと、地元では知的好奇心が満たされなかった
・就職先が少ないことと、低賃金のわりに家賃が高すぎて生活がしずらい
・あまり青森県に住むメリットが無い
・栄えている街にいきたいのはあたりまえ
・狭い価値観、人間関係から離れたかった
・青森県にいても就職や収入面でよい未来を思い描けなかった。
・雪がほとんど降らない地域で暮らしたかった
・青森県に若者の活躍の場や、生活の潤いが無いと感じたため

d. その他

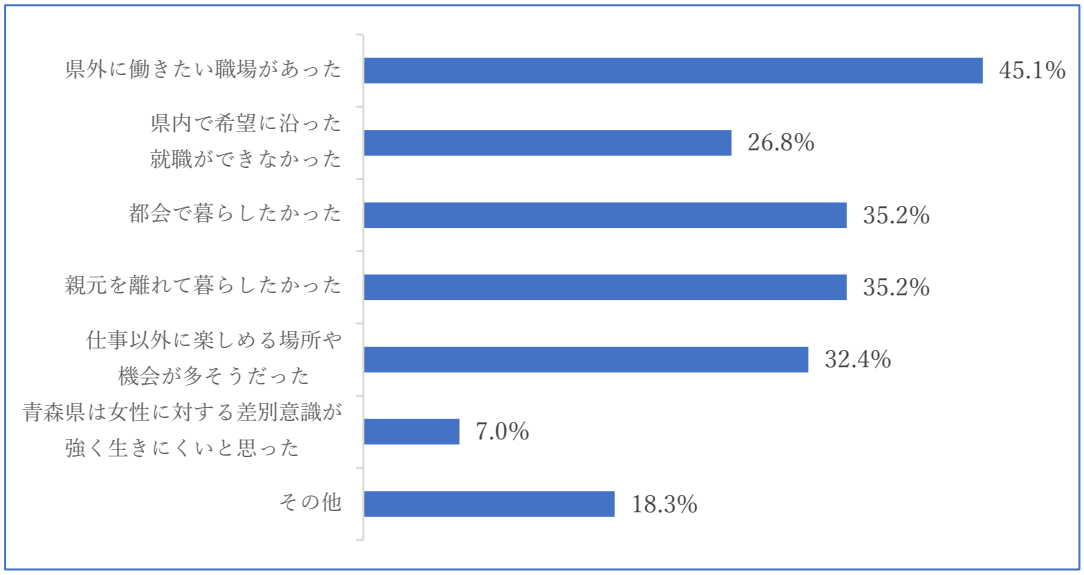
・生まれ故郷だから
・スポーツ特待で全額免除で入れたから
・娯楽やショッピングはもちろんだが、都会は人口が多いためその分ボランティアや学生活動が活発であるため
・誰ともつながらない、素の自分でいられると思ったから。
・スポーツが強い

③「就職のため」県外へ転出した理由

転出理由として 2 番目に多かった「就職のため」とした人に、県外を選んだ理由を問うと、「県外に働きたい場所があった」が 45.1%と最も多く、次いで「親元を離れて暮らしたかった」が 35.2%、「都会で暮らしたかった」が 35.2%と同数であった。

「就職のため」県外へ転出した「その他」の理由をみると「就職先の問題」が最も多く、次いで県外に出たかった」「生活環境に不満」が続いた。

Q4-5　Q4-1 で「就職のため」と答えた方の県外へ転出した理由（複数回答）



■「その他」を選択した方の記述内容■

a. 就職先の問題

・希望する業務を行う企業がなかった。また、あったとしても、その情報を得る機会がなかったから
・未経験ながら制作関係の仕事を希望していたが、未経験者 OK の求人が無かったため
・専門学校の延長に就職があったため
・雇用の数、平均年収が違うため
・県内の就職先に魅力を感じなかったから
・県外本社の企業で県内勤務を希望したが叶わなかった

b. 県外に出たかった

・青森県、秋田県以外で生活したいと思って
・仙台など中途半端に都会に行くよりも、東京を選択するのがよいと思ったから
・県内で就職した場合、なんとなく未来が想像できたので、厳しい環境に身をおいてみたかったから

c. 生活環境に不満

・青森県での給料が安かったため	（4）
・お給料の差も。青森県では車がないと不便なところも多いので、田舎は東京より物価が安いといっても車の維持費等生活に係る費用は変わらないと思うのでお給料の良いほうを選んでしまう。 子育てには青森はいいと思う。農業や水産業もあるので、山遊びや水遊びなど、子供だけでなく親もいろな経験ができ、心をはぐくむことができると思います。が、都市部を少し離れると自然は豊かなのですが、学校がないのでやはり不便さを感じる。高校を選ぶにしても通学手段という壁に阻まれる。そうなるとやはりお金がかかってくるので、ある程度の安定した収入が必要となり、農業や水産業のような一次産業だけでは生活が難しくなってくる	